ドッグラン設置・京王多摩川駅前駐輪場・校内別室支援を問う

阿部　草太（チャレンジ調布）

問　ドッグラン設置について、市が考える課題に対しどのように対応しているのか。

環境部長　緑地利用の在り方、近隣住民の理解、自主自立の管理運営を担う組織の確保等の課題を踏まえ、引き続き、他団体の事例も参考に慎重に検討。

問　ドッグランの設置に向けて、自主自立の管理運営を担う組織を確保するためには、積極的に行動している市民への明確な窓口設置が必要と考える。見解は。

環境部長　公園、緑地の利用に関する様々な要望、相談と同様に、緑と公園課で相談を受ける。

問　京王多摩川駅前駐輪場について①定期利用での利用可能台数と契約台数は②多くの市民から常に満車であると認識されている一時利用の利用状況を問う。

外・交部長　①定期利用可能スペースは370台。直近の契約台数は約230台②一時利用可能スペースは83台。一時利用の需要高く、朝の通勤・通学の時間帯において、早い段階で満車。

問　京王多摩川駅前駐輪場で有効活用されていない定期利用の140台分の空きスペースを一時利用に有効活用する考えは。

外・交部長　満車表示を一時休止し、施設管理員による定期利用スペースへの案内を継続。

問　登校できるが教室に入りにくい児童に対し重要な取組である校内別室において①どのような方が対応しているのか②人員確保のためには地域へのサポートが重要。市の見解は。

教育部長　①教職員、都補助金で配置の支援員、スクールサポーターや地域ボランティアなどの人材を活用②人員体制の維持には地域の方の協力必要。そのためサポートの充実必要と認識。

多くの時間において満車の京王多摩川駅前の駐輪場

調布市北部地区まちづくりと地域公共交通について

沼田　亮（自民党新政会）

問　調布市北部地区では地域住民が中心となり、様々な地域課題の解決に向けて議論がされている。北部地区まちづくりの現状について市の認識を問う。

都整部長　交通環境改善や地域コミュニティ等の形成が重要な地域課題であると認識。引き続き、地域課題を的確に捉え地域特性を生かしたまちづくり推進。

問　調布市北部地区まちづくり協議会において、交通環境の改善・地域コミュニティの形成・自然と調和した住環境の整備等の要望が上がっている。それらを踏まえた、今後の取組を問う。

副市長　北部地区のまちづくりの課題は多岐にわたると認識。今後も組織横断的な連携の下、調布市北部地区まちづくり協議会等と協議重ね、住民発意のまちづくり活動の支援に取り組む。

問　デマンド型交通について①今までの実証実験を踏まえた課題認識は②7年度の具体的な改善点について問う③8年度以降の北部地域の交通課題解決策について見解を問う。

外・交部長　①地域ニーズとのミスマッチや費用対効果に課題②乗降ポイント追加やLINE予約システム導入③関係機関等と連携し課題解決に資する持続性や実現性の高い方策を見定める。

問　地域の実情に合った公共交通の確保は行政の重要な役割であり、地域内交通として自動運転やライドシェアは有効と考える。地域公共交通の中期的長期的ビジョンについて見解を問う。

外・交部長　中長期的な展望を持ち、自動運転やライドシェア等多様なモビリティの在り方や技術導入を持続性・実現性踏まえ検討。地域の実情に合った課題解決に向けた取組を検討し推進。

茨城県境町　自動運転バス

誰にでも優しいまち・学校の老朽化対策・高齢者支援を問う

藤川　満恵（公　明　党）

問　6年4月に障害者差別解消法が改正施行、事業者も合理的配慮の提供が義務化。合理的配慮について①現状と課題は②改善事例発信を③車椅子マークや音声案内等エレベーター周りの取組を④合理的配慮の取組と対話が障害者だけでなく誰にでも優しいまちにつながる。取組は。

福祉参事　①周知等に取り組んでいるが、まだ理解が十分ではないことが課題②事業者に法改正周知するパンフレット配布③エレベーター内や周辺に掲示等を検討④障害者差別解消支援地域協議会にて、相談事例の共有等、障害者差別解消に取り組む。

問　市の学校施設は建設から約50年が経過。これまでの老朽化対策と課題は。

教育長　計画更新年数や劣化状況に応じて、基本計画に老朽化対策を位置づけ、取組を推進。入札不調や建設資材高騰による事業費増が課題。

問　学校トイレは、臭い、暗い、汚いとの声や健康被害もある。災害対策としても重要。室内の環境改善と暖房便座や洗浄機能付便座など機能向上を要望。

教育部長　トイレ室内の良好な衛生環境の保持に努めている。引き続き、トイレ室内の環境改善の取組を進め、改修工事に合わせた機能向上を検討。

問　2025年問題とも言われるが団塊の世代が全て後期高齢者の時代を迎えた。適切なサービスへのアクセスが困難な単身高齢者、高齢・病・ビジネスケアラー等複合的課題を持つ世帯へ支援を。

福祉参事　一定期間、医療や介護を利用していない方を訪問し、状況把握。複合的課題抱える世帯には、支援関係機関の分野横断的な連携による支援を推進。

市立学校トイレの改修前後の状況（洋便器化は98.9%）

生涯を通じた女性の健康・家庭内暴力・子どもの遊びへの支援

須山　妙子（公　明　党）

問　女性特有の健康課題があり支援重要。生涯を通じた女性の健康への支援と計画への反映は。

副市長　長期的、継続的、包括的な支援必要。調布っ子すこやかプラン、高齢者総合計画など、ライフステージに応じ取組推進。

問　思春期の女性が心と体を守れるよう正しい知識を身につけるための相談体制や情報提供は。

福祉部長　都はSNSを活用した相談窓口設置。市立小・中学校では総合的な学習の時間等を利用し指導。周知啓発に努める。

問　妊娠を考える女性やカップルが生活や健康に向き合うプレコンセプションケアへの支援は。

福祉部長　東京慈恵会医科大学と連携し、7年度から啓発カードを市保健センターで配布。発達段階に応じた健康意識を醸成。

問　更年期症状があっても医療機関を受診しない女性が約90%を占める。気軽に相談でき、婦人科へのアクセスを支援する体制整備が必要。市の考えは。

福祉部長　女性専門外来のある医療機関情報等、市HPで周知。

問　親は子から暴力を受けても、自分のせいだと思い相談しない。親の痛みに寄り添い、リアルとデジタル両方の視点から支援を。

子生参事　相談を受け、支援や、居場所となる場の情報提供、親子に対し同行支援。都実施のチャットを活用した相談を周知。

問　自然の中で体を動かして遊ぶのが子どもの本来の姿。①地域資源を生かした遊び場設置は②主体者である子どもの意見を遊び場の整備に反映すべきでは。

環境部長　①地域資源の活用と、協働し利活用を担う人材活用検討②これまでも利用者等の意見・要望を整備に反映。引き続き、効果的な意見の反映に努める。

市役所西　映画ゾーンの遊び場

会派名の変更

〈7年2月1日付〉
自民・維新の会
⬅
自民党新政会

新会派の届出

〈7年2月1日付〉
日本維新の会
《幹事長》澤井　慧
《副幹事長》田中　謙一

議会役職の一部変更

▽文教委員会副委員長
〈7年2月20日付〉
澤井　慧⬇岸本　直子

▽議会運営委員
〈7年2月28日付〉
澤井　慧

▽ふじみ衛生組合議会議員
〈7年2月28日付〉
澤井　慧⬇平野　充

▽調布市国民健康保険運営協議会委員
〈7年2月3日付〉
澤井　慧⬇古川　陽菜

▽調布市京王閣競輪場周辺環境対策連絡協議会相談役
〈7年2月3日付〉
澤井　慧

▽広報委員会委員
〈7年2月3日付〉
沼田　亮

▽調布市議会議員会委員
〈7年2月3日付〉
澤井　慧

議席の一部変更

〈7年2月28日付〉
16番⬇17番　佐藤　尭彦
17番⬇16番　澤井　慧

●「年」及び「年度」については「令和」を表記していません。